

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●突発性発疹が増えています

●突発性発疹

生まれて初めての高熱は、この病気が多いようです。熱が下がるのと前後して、赤い発疹が出るのが特徴です。

◆どんな病気？

- ヒトヘルペスウイルス6型・7型による感染症で、生後4ヶ月～1歳の乳幼児に多い病気です。2～3歳までにほとんどの子どもが感染します。感染しても症状の出ない不顕性感染が20～40%と言われています。
- ・症状………38℃～40℃の高熱が2～4日続き、解熱の前後におなかや背中、腕や足、顔に赤い発疹が出ます。下痢を伴うこともあります。
 - ・潜伏期間…10日程度
 - ・感染経路…唾液に含まれるウイルスが、赤ちゃんの口や気道から入って感染すると考えられていますが、よくわかっていない部分もあります。
 - ・流行期……季節性はなく、一年中みられます。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
- ・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は？

- ・多くの場合は重い合併症もなく、予後も良いため、特に予防が問題となることはありません。

期 間		平成29年 第14週		平成29年 第15週	
		4/3～4/9		4/10～4/16(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		107	4.28	91	3.64
RSウイルス感染症		4	0.25	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		7	0.44	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		33	2.06	35	2.19
感染性胃腸炎		67	4.19	89	5.56
水痘(みずぼうそう)		9	0.56	5	0.31
手足口病		4	0.25	22	1.38
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	4	0.25
突発性発しん		14	0.88	22	1.38
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		4	0.25	9	0.56
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		10	2.00	8	1.60
細菌性髄膜炎		2	0.40	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		7	1.40	10	2.00